

展覧会名：めいしよ×にかほ ー浮世絵筆くらべー

会 期：2014年11月18日（火）ー2015年2月1日（日）

Part 1：2014年11月18日（火）ー2014年12月21日（日）

Part 2：2014年12月23日（火・祝）ー2015年2月1日（日）

※年末年始休館日 12月28日（日）ー1月5日（月）

主 催：静岡市東海道広重美術館 指定管理者 NPO 法人ヘキサプロジェクト

協 力：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団、静岡県版画協会、静岡市版画協会

東海道や江戸の風景を描いた「めいしよ（名所）」絵師・歌川広重。歌舞伎役者や美人を得意とした「にかほ（似顔）」絵師・三代歌川豊国。幕末を代表する二人の絵師が、互いの得意分野でコラボレーションした『そうひつごじゅうさんつぎ雙筆五十三次』、『とうとこうめいかいせきづくし東都高名會席盡』をご紹介します。併せて、静岡県の版画家による静岡市・二峠六宿を描いた風景木版画、70年代から活躍するイラストレーターによる人物木版画をご紹介します。

江戸と現代の人気絵師による「めいしよ」と「にかほ」の筆くらべをどうぞお楽しみください。

■出品作品

※展示内容及び出品作品は都合により変更となる場合がございます。

浮世絵

- | | | |
|--------|-------------|--|
| Part 1 | 歌川広重、三代歌川豊国 | 『 <small>そうひつごじゅうさんつぎ</small> 雙筆五十三次』全 56 点（目録を含む） |
| Part 2 | 歌川広重、三代歌川豊国 | 『 <small>とうとこうめいかいせきづくし</small> 東都高名會席盡』全 50 点 |
| | 三代歌川豊国 | 『広重死絵』1 点 |

現代木版画

- | | | |
|--------|-----------------------------|--|
| Part 1 | <small>うらたかねたか</small> 浦田周社 | 『三保の松原』等、10 点 |
| | 山藤章二 | 『 <small>めいじんろっかせん</small> 名人六花撰』全 6 点 |
| Part 2 | 前田光一 | 『峠への道』等、5 点 |
| | 前田守一 | 『石のなみま』等、5 点 |
| | 和田誠 | 『 <small>ろくせいざ</small> 六星座』全 6 点 |

■ 展覧会の見どころ

■ 浮世絵筆くらべ

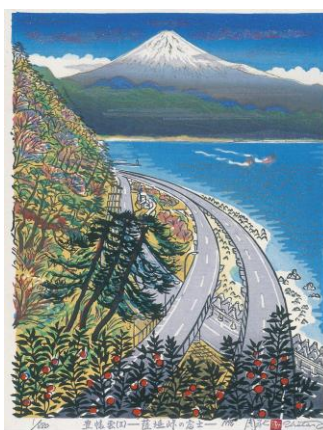
旅に憧れる人々のために東海道や江戸の名所を叙情的に描いた広重。江戸のアイドルだった歌舞伎俳優の似顔を華やかに描き絶大な支持を得た三代豊国。画風の異なる絵師がコラボレーションした浮世絵をご覧ください。両者の筆くらべをお楽しみいただけます。

Part1 展示作品
歌川広重、三代歌川豊国
『雙筆五十三次 江尻』

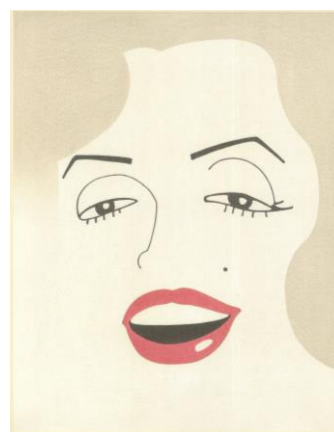


■ 現代のめいしよ×にかほ

静岡市・二峠六宿の名所をモチーフに、写実的な作風から抽象的な表現までバラエティに富んだ風景木版画。往年のスターの特徴をデフォルメして描いた人物木版画など、多種多様な作家の「めいしよ」「にかほ」の筆くらべをご堪能ください。



Part1 展示作品
浦田周社『薩埵峠の富士』作家蔵



Part2 展示作品／和田誠
『ノー・リターン Marilyn Monroe』
(公財) アダチ伝統木版画技術保存財団蔵

■ 浮世絵に隠されたキーワードを読み解く

本展でご紹介する広重と三代豊国の合作は、人気絵師たちのコラボレーションだけが売りではありません。広重が描いた料亭を背景に、三代豊国がトンチをきかせて料亭に関わりのある歌舞伎の演目や人物を洒落っ気たっぷりに描いています。

『東都高名會席盡 橋本 牛若丸』は、弁慶と将来の^{あるじ}主 牛若丸（義経）との出会いを描いたお話で、初対面の場、五条橋の本（もと）と料亭名の橋本がかけられています。

Part2 展示作品
歌川広重、三代歌川豊国
『東都高名會席盡 橋本 牛若丸』



■作品介绍：歌川広重 / 三代歌川豊国作品

Part1

そうひつごじゅうさんつぎ
『雙筆五十三次』

『雙筆五十三次』は、安政元年から四年（1854～1857）にかけて出版された大判の揃物です。幕末のスター絵師・広重と三代豊国がコラボレーションした豪華なシリーズで、東海道の宿場風景とその土地にゆかりの歌舞伎演目や歴史上の人物、文化が描かれます。

【主要作品介绍】



歌川広重、三代歌川豊国
『雙筆五十三次 大磯』

江戸時代に大ヒットした大磯ゆかりの演目『曾我物語』に登場する曾我十郎祐成（そがのじゅうろうすけなり）と、恋人の虎御前が描かれます。遠景には小余綾（こゆるぎ）の磯が望まれます。



歌川広重、三代歌川豊国
『雙筆五十三次 吉原』

妻子を残して出家し、流浪の旅をする西行法師。富士を見上げ、自身のあてのなさや噴煙の揺れ動くさまを重ねています。吉原宿は富士見の名所として知られていました。



歌川広重、三代歌川豊国
『雙筆五十三次 由井』

木製の刀と鎖鎌を交える宮城野（みやぎの）と信夫（しのぶ）姉妹。二人は父の仇を倒すため、由比出身の軍学者・由井正雪のもとで剣術修行に励みます。上部には由比の名所・薩埵峠が描かれます。

■作品介绍：歌川広重 / 三代歌川豊国作品

Part2

『東都高名會席盡』

『東都高名會席盡』は、嘉永五年から六年（1852～1853）にかけて出版された大判の揃物です。江戸の料亭を描いた本作は、おすすめの料理店を紹介するためのグルメガイドであり、描かれた歌舞伎の登場人物と料亭の繋がりを読み解く、連想ゲームを楽しむ浮世絵でもありました。

【主要作品介绍】



歌川広重、三代歌川豊国
『東都高名會席盡 梅の木 菅相丞
(菅丞相)』

梅の木をくわえた男性は、学問の神様として有名な菅原道真（すがわらのみちざね）。無実の罪で京都を追放された道真のもとに、自宅で愛でていた梅の木が飛んできたという伝説が描かれています。



歌川広重、三代歌川豊国
『東都高名會席盡 武蔵屋 弁慶』

料理店「武蔵屋」と弁慶は、彼が名乗っていた「武蔵坊」という名前で繋がっています。怪力、破天荒、熱血漢で人情味あふれる弁慶は、生涯忠誠を誓う義経の伝説とともに現在も語り継がれています。



歌川広重、三代歌川豊国
『東都高名會席盡 八百半 お千代』

当時大繁盛した有名料亭「八百半」とお千代の関係は、旦那さんの姓「八百屋」。新鮮な果物や野菜を売りにしていた八百半に八百屋さんをかけるところに、粋な評判を感じます。

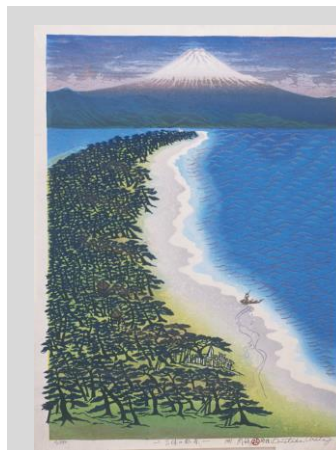
■現代木版画、作家プロフィール紹介

風景木版画

【Part 1】

うらた かねたか
浦田 周社 (1939-)

1939年静岡市生まれ。江戸時代から続く家業の浮世絵制作工房「版隈」六世を受け継ぎ、文化庁より重要民俗文化財選定保存技術保持者に認定される。88年第4回浜松市美術館版画大賞展大賞、99年平成11年度静岡県文化奨励賞を受賞。現在、静岡県版画協会、静岡市版画協会にて顧問を務める。



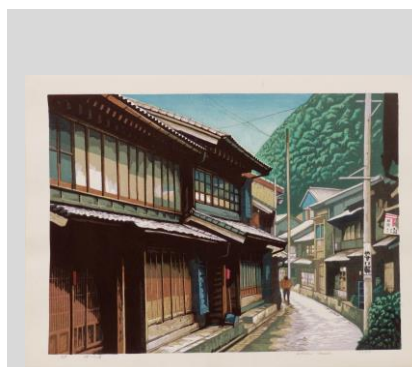
鮮やかな色彩で描かれる三保の松原と、重厚な富士が対比的に構成されている。古くから富士見の絶景ポイントとして知られる同地は、現在多くの観光客で賑いを見せる。

Part 1 展示作品
浦田周社『三保の松原』作家蔵

【Part 2】

まえだ こういち
前田 光一 (1936-)

1936年東京都に生まれ、62年静岡県駿東郡に移住。日本の風景を題材に、各地を旅し木版画の創作を続ける。89年に静岡県より「静岡の美」の出品制作を依頼され、作品は県に収蔵される。97年静岡県版画協会展県知事賞受賞。現在春陽会会員、静岡県版画協会会員。



由比地区をモチーフにした連作のひとつ。倉沢の街道から薩埵峠へと続く道のを、穏やかな色彩によって巧みに表現している。

Part 2 展示作品
前田光一『峠への道』作家蔵

まえだ もりかず
前田 守一 (1932-2007)

1932年浜松市生まれ。66年静岡で結成された美術家集団、「げんしよく幻触」に参加する。85年文化庁芸術家特別派遣事業で渡米、ミネソタ大学で木版画の指導を行う。96年カリフォルニアで個展、カリフォルニア州議会から表彰を受ける。2001年に文化振興貢献により静岡県知事表彰を受賞。



静岡市の安倍川をモチーフに描いている。形態のデフォルメが行われるとともに自由な色彩が用いられ、幻想的な雰囲気を出している。

Part 2 展示作品
前田守一『石のなみま』個人蔵

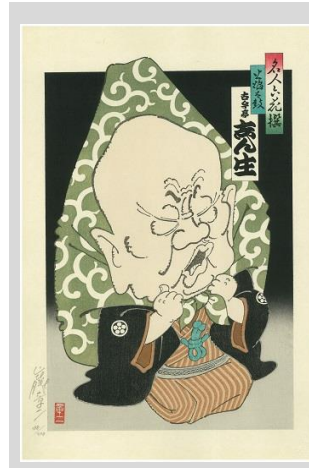
■現代木版画、作家プロフィール紹介

人物木版画

【Part 1】

やまふじ しょうじ
山藤 章二 (1937ー)

1937年東京都生まれ。似顔絵を得意とするイラストレーターとして知られる。演芸評論家として演芸プロデュースも手がける。70年第1回講談社出版文化賞(さし絵部門)、71年第17回文藝春秋漫画賞、83年第31回菊池寛賞、2004年紫綬褒章を受章。



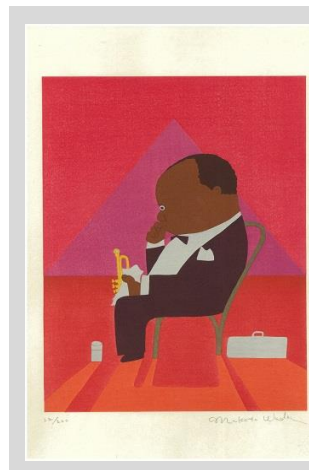
落語の名人を描いた『名人六花撰』シリーズのひとつ。20世紀を代表する落語家・五代目古今亭志生が得意とした演目『火焰太鼓』を演じる様子が、愛嬌たっぷりに描かれる。

Part 1 展示作品
山藤章二『古今亭志生』
(公財) アダチ伝統木版画技術保存財団蔵

【Part 2】

わだ まこと
和田 誠 (1936ー)

1936年大阪府生まれ。日本を代表するデザイナー・イラストレーターとして知られ、映画監督・脚本家を務めるなど様々な分野で活躍する。77年から現在まで『週刊文春』の表紙画を担当。74年第5回講談社出版文化賞(ブックデザイン部門)、94年第42回菊池寛賞、97年第43回毎日デザイン賞を受賞。



映画スターやミュージシャンを描いた『六星座』シリーズのひとつ。サッチモの愛称で親しまれた米国のジャズトランペッター、ルイ・アームストロングが、楽屋で出番を待つ様子が描かれる。

Part 2 展示作品/和田誠
『ボート・ヘッド・ブルース Louis Armstrong』
(公財) アダチ伝統木版画技術保存財団蔵

■出品協力

公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団は、浮世絵制作の技術を高度に継承した職人をおかえる日本で唯一の版元。江戸時代より浮世絵を通じて培われた伝統木版の技術を保存・継承するために、技術者の育成などを中心に様々な事業を展開する。浮世絵版画の復刻をはじめ、現代アーティストの作品等数多くの作品を発表し続けている。

■関連企画

■関連企画 1／浦田周社によるギャラリートーク『現代版画よもやま話』

浦田周社（出展作家）と川島眞（ゆい年賀状版画コンクール審査委員長）との対談形式による作品解説。

[日 時] 2014年11月23日（日）13：00～13：40

[参加費] 無料（入館料別途）

※当日当館エントランスホールにてお集まりください。（申し込み不要・定員制限無）

■関連企画 2／当館学芸員によるギャラリートーク

[日 時] Part 1：『雙筆五十三次』2014年11月30日（日）13：00～13：30

Part 2：『東都高名會席盡』2015年1月11日（日）13：00～13：30

[参加費] 無料（入館料別途）

※当日当館エントランスホールにてお集まりください。（申し込み不要・定員制限無）

■お知らせ

『第9回 ゆい年賀状版画コンクール作品公募のお知らせ』

[募集期間] 2014年11月1日（土）－ 2015年1月8日（木）※必着

[賞] 最優秀賞（賞状及び副賞）1点 優秀賞（賞状及び副賞）2点

（各部門） 特別賞（賞状及び副賞）2点 入選（賞状及び副賞）5点

佳作（賞状及び副賞）多数 参加賞全員

[募集部門] ●小学生の部 ●中学生・高校生の部 ●一般の部

※応募対象は小学生以上となります。プロ・アマチュアを問いません。

※詳細は当館 WEB サイトをご覧ください。

※掲載の内容及び出展作品は都合により変更となる場合がございます。

■美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、東海道 16 番目の宿場・由比宿の本陣跡地に建ち、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）をはじめ、『木曾海道六拾九次之内』、『名所江戸百景』など、風景版木の揃物の名品を中心に約 1400 点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。江戸時代から現代まで、世界中で愛される浮世絵版木のすばらしさをお楽しみください。



広重について

歌川広重 (1797 - 1858) 浮世絵師

15 歳頃に歌川豊広に入門。後に豊広の「広」と本名の一字から画号を広重とし、37 歳頃に保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となります。その後も東海道や江戸の風景を描いた浮世絵版木を次々と制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ 62 歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与えています。



三代歌川豊国『広重死絵』

開催時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は閉館の 30 分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）※年末年始休館日 12 月 28 日（日）－1 月 5 日（月）

入館料：一般 510 円（410 円） / 大学生・高校生 300 円（240 円） / 中学生・小学生 120 円（100 円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の 70 才以上の方は無料 ※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料
※（ ）は 20 名以上の団体料金

主催：静岡市東海道広重美術館 指定管理者 NPO 法人へキサプロジェクト

協力：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団、静岡県版画協会、静岡市版画協会

静岡市東海道広重美術館 SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp

[facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

〈電車をご利用の場合〉

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

〈お車をご利用の場合〉

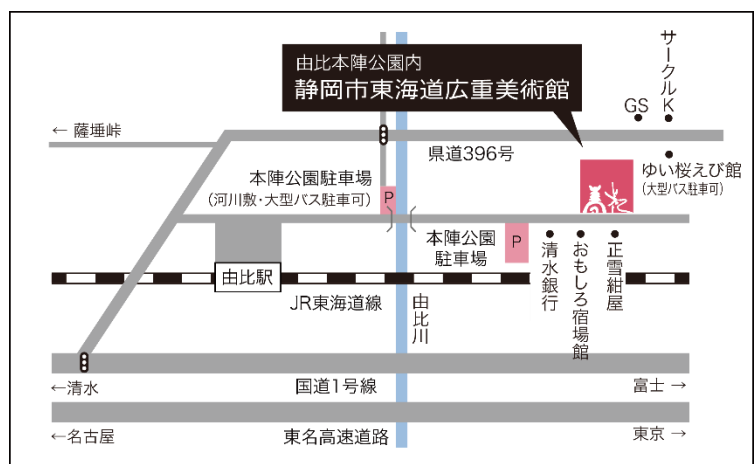
美術館無料駐車場 21 台（由比本陣公園駐車場）

[大阪・名古屋方面から]

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号経由約 20 分

[東京・横浜方面から]

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号経由約 25 分



本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

静岡市東海道広重美術館 Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

■広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記8点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。

1



2



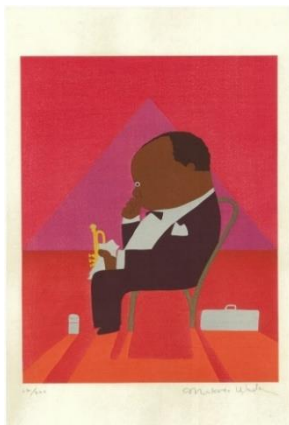
3



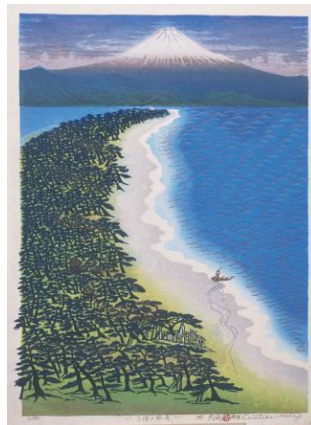
4



5



6



7



8



□作品名およびクレジット

- | | |
|----------------|---|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2. 歌川広重、三代歌川豊国 | 『雙筆五十三次 由井』静岡市東海道広重美術館 蔵 |
| 3. 歌川広重、三代歌川豊国 | 『東都高名會席盡 武藏屋 弁慶』静岡市東海道広重美術館 蔵 |
| 4. 山藤章二 | 『古今亭志ん生』公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団蔵 |
| 5. 和田誠 | 『ポテト・ヘッド・ブルース Louis Armstrong』公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団蔵 |
| 6. 浦田周社 | 『三保の松原』作家蔵 |
| 7. 前田光一 | 『峠への道』作家蔵 |
| 8. 前田守一 | 『石のなみま』個人蔵 |

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等のご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきますため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

『めいしよ×にかほ - 浮世絵筆くらべ - 』

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. 展覧会ポスターイメージ
2. 歌川広重、三代歌川豊国『雙筆五十三次 由井』
3. 歌川広重、三代歌川豊国『東都高名會席盡 武蔵屋 弁慶』
4. 山藤章二『古今亭志ん生』
5. 和田誠『ポテト・ヘッド・ブルース Louis Armstrong』
6. 浦田周社『三保の松原』
7. 前田光一『峠への道』
8. 前田守一『石のなみま』

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等はお遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp